



### これからの学び

- いままでの学びとこれからの学びが融合する教室環境
  - ・一斉形態を含む多様な人数・学習形態に対応
  - ・机上を超えてものづくりや行動的な活動等に対応
- 小規模を活かす多様な空間や家具による環境構成
  - ・活動や状態に応じて場所やモノを選択できる環境
- 町内400人の児童を交通とICTでつなぐ『串本学校』
  - ・居住地域を超えて町全体を知り、知ることにつながる
  - ・プロジェクト学習の成果を学校を超えて共有
- 落ち着いた環境で学ぶ
  - 長い時間を過ごす場所としての生活環境向上

### 学校外の学び・一生の学び

- 地域の学習資源を最大限に活かす
  - ・地区毎の特殊な地形や地質、豊かな海と山、歴史遺産
  - ・現代の新しい産業：海産物の養殖やロケット射場
  - ・串本古座高校との連携強化と18年間の学びのデザイン
- こども園・学童保育と連携した12歳までの居場所づくり
  - ・小学校と学童保育の複合による多様な活動場所の確保
  - ・放課後や休日の子どもの活動場所のひとつとなる施設
- 学校施設の積極的に地域開放と公共施設の相互利用
  - ・低地からすぐに移転できない体育館・図書館機能の補完
  - ・スポーツ公園サン・ナンタンランドの活用（プール等）

### 串本町のみらいの姿

#### これからの串本の教育

#### 統合小学校の目指すもの

小学校教職員	こども園教職員		
小学校保護者	こども園保護者		
議員	教育課	建設課	企画課
学校建築	防災計画	建築設計	

現場、保護者、地域と専門家が一緒に『学校を核』にこれからの時代を考える

### レジリエントなまちづくり

- 南海トラフ地震に備える高台移転と避難所機能強化
  - ・串本地区の中心的な避難所機能整備
  - ・防災備蓄倉庫の整備
  - ・小規模再生可能エネルギーの導入検討
  - ・自然と調和した省エネルギーでも快適な建築
  - ・地域全体の防災教育の拠点となる学校
- 宅地の再編とまちの再生
  - ・公共施設再編と学校施設の役割再考
  - ・バス通学と子どもの姿が感じられるまちの両立

### 海と森のまち

- 木造・木質化の積極的な検討
  - ・地元木材の活用（森林組合や製材所との連携）
  - ・木材利用を通じた森林育成（水源保全）と海の保全
  - ・校舎建設を活かした教育機会の取り組み
- 脱炭素社会に向けた持続可能な施設環境と教育
  - ・環境配慮技術を活かした省エネルギー化
  - ・熱・光・風等を活かすパッシブデザイン
- 森と海の恵みを体験する食育の場づくり
  - ・ランチルーム整備や教室での食事のあり方検討
  - ・育て、調理し、食べることを通じた多様な学びの場

2022

2023

2024

2025



今の施設を知る



串本の現状を知る



最新の情報を知る



これからの学校を考える勉強会

ワールドカフェ



先進校を見る



めざすみらいを議論する

模型や図で具体的に考える



これからの施設・目指す教育環境を考える